

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院附属健康管理センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間：2018年7月1日～2022年2月28日の間に、虎の門病院附属健康管理センター及び虎の門病院にて、大腸カプセル内視鏡検査を受けられた方

### 【研究課題名】

当院における大腸カプセル内視鏡検査の現状

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

当院における大腸カプセル内視鏡（CCE）の現状と有用性について明らかにすることが目的です

#### 《研究に至る背景》

本邦では、2014年1月にCCEが保険収載され、さらに2020年4月には保険適応が拡大されました。CCEとは両端にカメラが搭載された、2ヘッドのカプセル型の内視鏡です。

食生活の欧米化と高齢化に伴い、本邦の大腸がんの罹患率・死亡率は増加傾向にありますが、大腸がん検診の普及率は十分ではありません。CCEは、経口内服可能であり、検査に伴う苦痛が少なく鎮痛薬・鎮静薬投与も不要であることから、大腸がん検診受診率向上、精密検査の受診率向上につながることを期待されています。しかしながら、その保険適応や価格、前処置の困難さの点で、いまだ一般的な検査とは言えないのが現状です。当院におけるCCEの実施状況を解析し、CCEの現状と有用性を明らかにすることで、適切な前処置方法を確立し、大腸がん検診・精密検査受診率向上に寄与することができると考えられます。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年7月5日～2025年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院附属健康管理センターでの単独研究

#### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院附属健康管理センター 荒木昭博 のもとで研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

#### 【利用する診療情報】

患者背景（年齢・性別）、問診記録（大腸内視鏡検査の経験、日頃の排便状況、既往歴）、CCE 前処置記録（前処置総水分量、歩行数）、CCE 検査所見、CCE 前後の大腸内視鏡検査所見及び病理所見、偶発症

#### 【研究責任者】

虎の門病院附属健康管理センター 荒木昭博

#### 【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

#### 【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合は、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年9月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

#### 【相談窓口】

虎の門病院附属健康管理センター 荒木昭博

電話 03-3588-1111(代表)